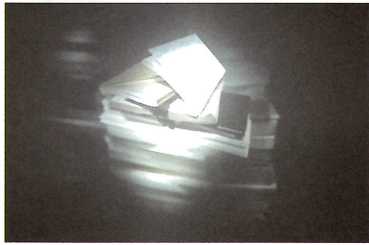


Katsurao AIR

2022年5月より滞在し活動を行なっていた前期アーティストの赤坂有芽、石川洋樹による展覧会「Travel in the hotel」は、村内外から多くの方に訪れて頂きました。会期9月23日〜10月10日をもちまして無事終了いたしました。ご来場いただいた皆様、気にかけていただきました皆様に深くお礼申し上げます。後期は4名のアーティストが滞在し活動を行ないます。後期アーティストの活動報告会はオープンスタジオ(※)形式で実施します。皆様と会場でお会いできるのを楽しみにしております。

(※) 作品の制作過程をアーティストの制作スタジオで観覧できます



ビデオインスタレーション土着 [vernacular] のための習作 / 赤坂有芽



ビデオインスタレーション土着 [vernacular] のための習作 / 赤坂有芽



遠い目を見て遠くを見る Looking "the eyes" far away / 石川洋樹



無題 (ビデオ作品のためのドローイング) "Untitled (Drawing for video work)" / 石川洋樹

【Katsurao AIR 2022 後期 概要】

■滞在アーティスト

太田祐司、尾角典子、山口諒、山田悠

■活動期間

2022年10月1日〜2023年2月28日

■スタジオ

葛尾村立葛尾中学校 (休校中)

〒979-1602 福島県双葉郡葛尾村落合菅ノ又14 Pあり

■オープンスタジオ

1月27日(金), 28日(土), 29日(日) 10:00-16:00

■アーティストトーク

1月28日(土), 29日(日) 14:00-15:00



9月

かつらお企画室

毎月、葛尾村の素材を使いながらアーティストたちのユニークなワークショップが続いています。7月から始まった「かつらお企画室」のワークショップは、色々な方にサポート、ご参加いただきながら進んでいます。8月は講師、岡崎みゆきさん(織物作家)と一緒に金泉ニツトさんの残糸などを使って、腰ばた織りと尾っぽのような不思議な形の飾りを作りました。さまざまなかから自分の好きな糸を選んで、作品に組み込む楽しさと、もくもくと手を動かす心地良さを味わうワークセッションになりました。

9月は井上康子さん(染色家)が講師をつとめ、村の中を散策して見つけた植物(猪小槌・赤麻・大待宵草)を煮出して染色を行い、参加者はそれぞれオリジナルの手ぬぐい作りにチャレンジしました。身近な植物から、こんなに多彩な色が生まれる驚きとともに、新たな発見がたくさんあるワークショップでした。10月の竹村望さんによる「葛尾村で『やり場のないもの』たちについて考える」は、今までのような、ものを作るワークショップではなく、対話しながら頭の中をマッサージするようなワークショップです。自分の中の「やり場のないもの」ってなんだろうと、日常ではなかなか考えることのない問いに、参加者のみんなで楽しく会話をしながら考え、参加者は新たな視点や気づきを得るきっかけをもらっていました。

かつらお企画室では、引き続き、村の素材や文化を生かしたワークショップを企画しています。また、ワークショップ開催時以外も楽しんでもらえる企画を準備をしています。たくさんの方に気軽にゆっくり過ごしていただける場所を作っていきたいと思っています。ぜひ気軽にお立ち寄りください。



8月



10月



8月

今月の一冊

「自分だけの答え」が見つかる
13歳からのアート思考

末永幸歩

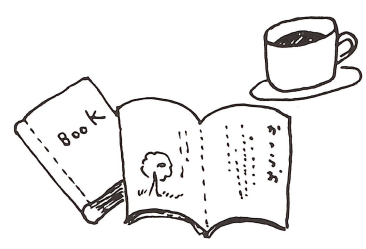
20世紀初頭、カメラが普及したことによりアートに対する価値観が一変します。「目に見えるように世界を描く」というルネサンス以降のゴールが崩れてしまったからです。アートは写実的であるべき、美しくあるべき、一点ものであるべき…。近代以降のアートは、そんな古くからある固定概念を覆し、新しい表現を模索し続けるアーティストたちの格闘の歴史でした。この本では、20世紀のアートを代表する6作品の紹介を通じ、アーティストの発想に触れることで、

「自分だけのものの見方」で世界を見つめ、「自分だけの答え」を生み出し、それによって「新たな問い」を生み出すという、いわゆる「アート思考」のプロセスをわかりやすく解説しています。

激しく変化し続ける時代に生きる私たちは、仕事や人生においても「答えのない問題」にいかにか立ち向かい「自分だけの答え」を導き出すのか。年代を問わず、大人の方にもぜひ手に取っていただきたい一冊です。



「選書：スタッフ 大井田」



かつら暮らし

葛尾村での暮らしの様子をお届けします



本格的に朝晩冷えるようになりましたね。はたけでは今年も野菜がたくさん収穫でき、特にじゃがいもが大量に採れました。じゃがいもは盆踊りでフライドポテト、かつらお感謝祭でじゃがバターとして販売し、どちらも大好評でした！わざわざ「おいしかったです！」と感想を伝える店に戻ってこられた方も嬉しかったです。なかにはSNSのアカウントにメッセージをくれた方も！葛尾村で育てた野菜はおいしいですね。お越しいただいた皆様、ありがとうございます！

スタッフ紹介

森健太郎 (ディレクター・チームリーダー)

福岡県出身。東京藝術大学大学院卒業。東御市梅野記念絵画館学芸員、独立行政法人国際交流基金 (The Japan Foundation) 勤務後、2022年5月より現職。アーティストとして社会で合意・形成される『アート』の成立の仕方についてリサーチを行う傍ら、日本各地でアートフェスティバルのオーガナイザー、キュレーターとして活動を行う。車やバイクが大好き。たまにバイクで村内を爆走しています。見かけたらぜひお声かけください！



編集後記

葛尾村に移住して半年が過ぎ、あつという間に冬が訪れました。この村の暮らしは人と自然とが一体となっていて印象が強く、四季に合わせた生活を送り、仕事も「生きるために暮らす」という根底の部分を感じられる魅力的な村だと思えます。この村の人々が持つ知恵や技術・魅力は残していくべきだと思えますので、今後も各種媒体を通して発信していきます。これからもよろしくお願ひします！

Katsurao Collective 各種 SNS アカウント

Facebook

instagram

公式サイト

